

初開催！子育て中の親と行政のフラットな話し合い



会場ぎっしりに集まった参加者たち



町から子育ての取り組みについて紹介

今年1月28日(日)、みんなで子育て作戦会議「しゃべりば」を南三陸町と任意団体「みなはび」、(特活)ウィメンズアイで共催しました。子育て中のパパ・ママ、子育てや教育に関心のある方、南三陸町社会福祉協議会などから30名が参加しました。

グループワークでは、主にママたちが日ごろから感じていた悩みや困りごとを共有し、「屋内の遊び場が増えるといいな」、「子育て世帯応援券をもっと使いやすくしてほしい」などの声が上がりました。

一方、パパたちからは「正直、授乳室が使いづらい」「育児休暇が取りやすい環境がない」などの意見が出され、共感したり、気づかされたり、それぞれの意見に耳を傾けました。

2024年
7月号

「しゃべりば通信」は、しゃべりばの開催と連動してまちの子育てをみんなで考えていくためのお便りです。

発行:
24年7月1日

企画・作成
(特活)ウィメンズアイ
みなはび

みんなの声をアクションに



子育てに沢山の意見が寄せられた

子育てを支え合う
コミュニティ

ママやパパが一人子育てにならないようにしたい。

子どもの声いっぱい
のまちづくり

出生数が年間約50人の小さな町だからこそ、子どもの声をいっぱい聞きたい。子ども会議の開催も面白そう。



楽しい遊び場があるから、子連れで参加も安心

切実なニーズや変化を考慮した取組を

共働き世帯・ママのワークライフバランスの現状を知り、これからの子育てのことを考えたい。

中高生の居場所づくり

中高生の居場所があるとよい。

当日のゲストからのメッセージ



小川ゆみさん
一般社団法人
マザーウィング
代表理事

「ともに育ち合い・支え合う」場づくりを、すばらしいパワーで町と創り上げている、南三陸のママ・パパたち。

お話するたびにそのパワーと思いの深さを知ります。今後は本当の意味で安心して子どもを産み育てることが出来る地域となるよう、私も協力していきたいと思っています！

感想

ずっとやりたいと願っていた「しゃべりば」をやっと開催できて本当に嬉しいです！ここで出た貴重な意見を大切に育んでさらに楽しい町にしていきたいです！



しゃべりばvol.2では、今回いただいた意見に対するこれまでのアクションをご報告します。

